

# 歯への外傷を受けた患者様、及び保護者様へ

～外傷歯学会のガイドラインとデータに基づく外傷歯の予後に関する一覧表～

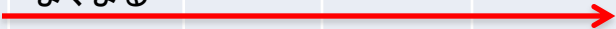
外傷を受けた歯は、数ヶ月・数年の時間を経過して生じる後遺症が存在します。ここでは、外傷歯学会のガイドラインとデータに基づく外傷歯の予後に関する一覧表を作成しております。詳細は当院で御説明致しますが、簡易表として当院ホームページに掲載しておりますので、以下の表を参考に経過観察を行うことを御勧め致します。






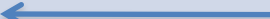

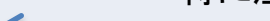

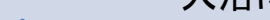
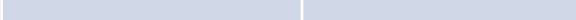
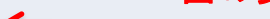
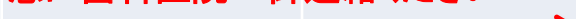
## 受傷当日

注意項目	月日( / )
経過	当日
達成目標	ご本人と保護者様へ、お口の中の状況と今後の処置について理解し、同意を得る
治療	必要に応じて止血や縫合を行います。 歯が移動している場合には元の位置に戻し、揺れている歯は固定します。 折れた部分は覆い、歯の神経を保護します。
処置・検査	お口の中を全体的に審査し、可能な限りX線撮影を行います。 お口の中の状態に応じた処置を行います。 軟組織(歯以外の組織)への止血など行います。
薬剤	抗菌薬(感染予防)と鎮痛剤(痛み止め)を処方します。 (薬は指示通りにお飲み頂きますが、お腹を壊したり蕁麻疹がでる場合などには使用をやめてすぐに御連絡ください)
口腔ケア (保護者様)	注意しながらも優しく歯磨きしてもらいたいですが、無理にブラシをこする必要はありません。 うがい薬を綿棒に付けて清拭するだけでも構いません。
活動安静度	激しい運動は避けてください。お風呂は手短かに御願います。夜は早めに寝ましょう。
食事	食べ易いものを食べましょう。熱いものや辛いものは傷にしみる可能性があります。
清潔	シャワー程度か、お風呂だとしても短時間にしましょう。
その他	発熱がある場合は感染がある可能性があります。御連絡ください。

# 受傷翌日から2週間

注意項目	/	/	/	/	/	/	/	
経過	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	14日目	
達成目標	普段と同様に食事がとれる	発熱がなくなる					自分自身で歯ブラシができる	皮膚や粘膜の異常がなくなる
治療	必要に応じて消毒					縫合した場合には糸をとります	歯の固定を外します 根の治療が必要な際は根の治療を開始します	
	歯の色が変色することがありますが、後に消退することがあるのでこの期間では経過観察							
処置・検査	歯科医院からの処方を用法・用量を守って服用してください							
薬剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食後や就寝前にはうがい薬を付けた歯ブラシで丁寧に磨いてください</li> <li>・場合によっては、糸楊枝・歯間ブラシ・タフトブラシを用いて丁寧に磨いてください</li> </ul>							
口腔ケア (保護者様)	止血が完了している場合には通常の運動は問題ありませんが、同じ部位の外傷にご注意ください							
活動安静度	食べられるものを食べてください、ただし受傷した歯の負担になる食事や噛み方は避けてください							
食事	通常のお風呂は問題ありませんので、気持ち良く入浴してください							
清潔	発熱がある場合は感染がある可能性があります。御連絡ください。							

## 受傷1ヵ月後から1年後

注意項目	/	/	/	/	/
経過	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年後～
達成目標	受傷後1ヶ月の 検診に来院する	定期的に合併症 の有無を確認			
治療	根の治療が必要 な際は根の治療 を開始	歯が脱落した場 合はこの時期に 固定を外します			
処置・検査	X線撮影により 歯の周りの組織 確認		X線撮影により 歯の周りの組織 確認		
薬剤	←  この時期に薬剤を処方されることは基本的にありません。  →				
口腔ケア (保護者様)	←  仕上げ磨きをしてあげてください  →				
活動安静度	←  特に注意事項はありませんが、同じ部位の外傷に注意してください  →				
食事	←  特に注意事項はありません、食べられるものは何でも食べてください  →				
清潔	←  入浴に制限はありません  →				
その他	 <b>歯の変色や病的な歯の動揺を認めた時は早急に歯科医院へ御連絡ください</b>  →				